



単位
(人)

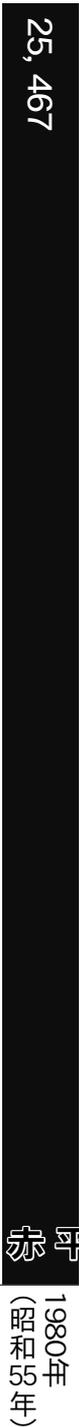
25,000

20,000

15,000

10,000

5,000



赤平市の人口は、1960年(昭和35年)約59,400人をピークに、国のエネルギー政策転換の影響等により年々減少し、本年6月末現在で11,184人となりました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、赤平市の人口は2040年に約5,300人、2060年には2,800人を切ると推計されています。人口の減少は、まちの活気を奪い、地方経済を衰退させるなど、大変重要な問題です。

「赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」「みらい部会」

赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 市外からの有識者 3名

- 梶井 祥子 氏
【札幌大谷大学社会学部地域社会学科教授(北海道創生協議会委員、札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会委員)】
- 大澤 恒一 氏
【中小企業基盤整備機構北海道本部企画調整部長】
- 藤島 京子 氏
【空知総合振興局地域政策部戦略策定支援担当部長】

市では、まち・ひと・しごと創生法に基づき、「赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」を設置しました。また、各種団体の住民代表者及び市外からの有識者19名で組織する「赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」及び50歳以下の市民17名で組織する「赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略みらい部会」が設立され、将来、予想される人口減少社会到来に対応すべく「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」を策定することとなりました。

7月2日、第1回赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議及びみらい部会合同会議が開催され、戦略会議の会長に西出勝利氏、副会長に藤原税氏、みらい部会の部会長に植松努氏、副部会長に岡田剛氏が選任されました。

本年11月中の策定を目指し、さらに活発な議論を行います。

赤平市の人口実績

赤平市の人口推計

国立社会保障・人口問題研究所推計



赤平市民による地方創生に関する 政策提言の募集について

市では、市民の皆様から赤平市のまちづくりや人口減少に歯止めをかける政策のご提言を受けて、総合戦略策定の参考にさせていただきたいと考えています。

市民の皆様が安心して暮らせるまちづくり、赤平市の将来を担う子どもたちのためにも、皆様からの貴重なご提言をよろしくお願いします。

◆政策提言募集期間

平成27年 8月1日(土)～8月20日(木)

◆提言書回収箱設置場所

- エルム高原温泉ゆったり ●市役所1階
 - 交流センターみらい ●あかびら市立病院
 - 総合体育館 ●東公民館 ●平岸連絡所
- ※提言はメールでも受け付けます。

kikaku @ city.akabira.hokkaido.jp

「総合戦略会議」「政策提言募集」に関するお問合せ
赤平市まち・ひと・しごと創生総合戦略
策定委員会事務局(企画財政課 ☎32-1834)

あかびら創生

～人口減少対策に市民のお知恵を～

政策提言書 回収箱



赤平市

▲回収箱は上記のイラストを目印に。

▼提言書記入用紙について

- 記入用紙は提言書回収箱横に置いてありますが、どのような紙に記入していただいてもかまいません。
- 記入用紙は市のホームページからダウンロードできます。
- 内容等について確認させていただく場合がありますので、差し支えなければ、氏名・住所・電話番号・性別・年齢を記入してください(個人が特定される公表はしません)。

副市長就任

平成27年7月7日付けで、浅水前副市長の後任として、伊藤嘉悦副市長が就任しました。

永年、行政の現場で培ってきた力を発揮して、菊島市長とともに赤平市の地方創生・地域活性化に取り組みます。

【副市長ご挨拶】

このたび菊島市長の推薦を受け、市議会の同意をいただき、7月7日付けで副市長に就任いたしました。身に余る光栄であり、また、職責の重さに身の引き締まる思いであります。

市政発展のため微力ではありますが、菊島市長を支え、職員とともに全力で取り組んでまいります。

市民の皆様のご支援、ご協力をよろしく申し上げます。



かえつ
伊藤嘉悦 副市長